

「日本生涯スポーツ学会第 26 回大会」にてスポーツ学部に所属する 3 年生がポスター発表

2024 年 10 月 26 日と 27 日に流通科学大学（神戸市）開催された「日本生涯スポーツ学会第 26 回大会」に、スポーツ学部（松崎ゼミナール）に所属する 3 年生の学生が参加し、ポスター発表を行いました。本学会大会のテーマは「生涯スポーツを通じた DE&I の実現に向けて」と定められ、パラスポーツを通じた DE&I (Diversity, Equity & Inclusion) の推進と共生社会の実現に向けて、活発な議論が展開されました。また、10 月 25 日には、大学生を対象にしたスチューデントセミナーが開催され、スポーツ学部の学生は、「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーをどのように継承していくべきか」について、日本国内にてスポーツ科学を学ぶ他大学の学生との合同チームを結成し、活発な議論とプレゼンテーション資料の作成を行いました。

▼スチューデントセミナーの様子



○九州共立大学スポーツ学部からの受賞者（スチューデントセミナー）

- ・最優秀賞：小山 佳南実（スポーツ教育コース）・河内 翔大（スポーツ総合コース）
「TOTO を通じてパラスポーツの認知度向上」
- ・優秀賞：安藤 大悟（スポーツ政策コース） 「親子で楽しくパラスポーツ」

■受賞者コメント：河内 翔大

「私たちのグループは、スポーツくじの TOTO を通じてパラスポーツの認知度を上げるためのアイデアを提案しました。セミナーでは、常に他大学のの人々とコミュニケーションをとり、終盤では常に笑いが絶えないほどチームで仲良くなれました。これからの就職活動では、グループで意見を出しやすい雰囲気づくりを心がけること。そして、視点を広げて他の人とは違う角度から意見を提案することを意識していきたいです。」

■受賞者コメント：小山 佳南実

「パラスポーツの認知度を上げていくための一つの手法としてギャンブルに焦点を当てました。セミナーでは、他の大学の人との新しい交流が生まれ、初対面の人々と1つのテーマに対して話し合う経験ができたので、これらの経験を就職活動にも活かしていきたいです。」

○10月26日に実施された学部生ポスター発表では、2つのグループが研究発表を行いました。

【演題①】部活動改革に向けた戦略的提携に関する研究：F県A市の官民連携事業に着目して

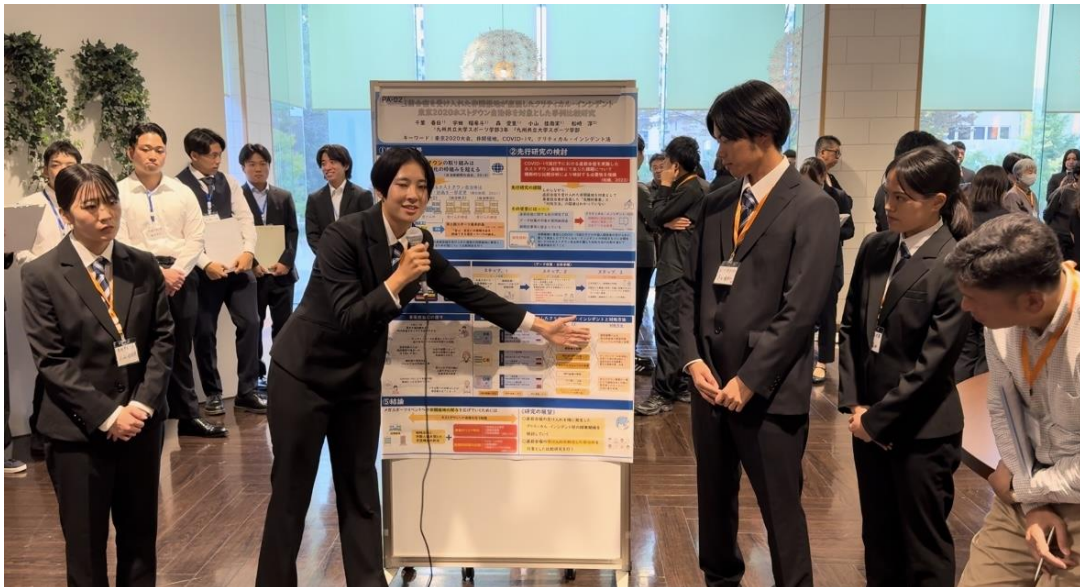
発表者：川上 志ずく，安藤 大悟，河内 翔大，栗田 綾乃

【演題②】直前合宿を受け入れた非開催地が直面したクリティカル・インシデント：

東京2020ホストタウン自治体を対象とした事例比較研究

発表者：千葉 春日，宇田 瑠希斗，森 愛里，小山 佳南実

▼学生らによる研究発表の様子



▼フロアディスカッション

